

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型)」

大阪公立大学 女性研究者支援室
| 2023年度 | **事業報告書**

大阪公立大学は、2022年4月、大阪市立大学と大阪府立大学が統合し発足しました。地を紡ぎ、未来を育む場所として、異分野を融合・包摂した新たな学問の創造と多様な世界市民の育成を目指しています。

大阪公立大学ダイバーシティ宣言では、3つの理念のうちの1つに「2. 多様性に配慮し、各人が能力を発揮することができるように助け合う」を掲げ、ジェンダー平等、ダイバーシティを推進し、インクルーシブな社会の実現に資する役割を果たすべく取り組んでおります。また、大阪公立大学開学にあたり、今後本学が目指す事項を取りまとめた「大阪公立大学ビジョン 2030 ～ 大阪公立大学の将来構想 ～」では、重要戦略20のうちの1つに「将来を担う若手研究者・女性研究者の育成・支援」を掲げ、女性研究者が能力を十分に発揮できるよう、教育研究環境整備やキャリアアップ支援を行い、女性教員の割合を増やし、それによる社会イノベーションの創出を図れるような多様な研究者組織の構築の実現に向け取り組んでいます。

今年度、選定された令和5年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」では、コンセプトに女性研究者の活躍を「見える化・魅せる化」し、「景色を変える」ことを掲げています。これを実現するためにも、積極的に女性研究者の教授職や執行部などの上位職登用を推進していきます。

本学の優れた人材が、常に新しいことにチャレンジする高い志や進取の気風をもって、性別や人種・国籍などを問わず活躍できるよう、大学全体で人材育成に取り組んで参ります。今後とも、ご支援・ご協力いただきますよう、お願いいたします。



辰巳砂 昌弘
大阪公立大学 学長

2022年4月1日に誕生した「大阪公立大学女性研究者支援室」は、中百舌鳥、杉本の両キャンパスにそれぞれ女性研究者支援センターを配置し、前身である大阪府立大学および大阪市立大学の女性研究者支援やダイバーシティ推進におけるこれまでの取組を強化しております。具体的には、男女を問わない研究者のワーク・ライフ・バランス支援はもとより、本学の課題である女性研究者、特に教授などの上位職を増やすため、さまざまな支援を行っています。支援の具体例としては、妊娠・出産・育児・介護支援のための研究支援員派遣制度、研究力向上のためのスキルアップ支援セミナーやRESPECT共同研究助成、さらに未来の女性研究者を育成する理系女子大学院生チームIRIS (I am a Researcher In Science) の活動支援などです。

今年度、大阪公立大学は令和5年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」に選定されました。本学が掲げたコンセプトは「研究者が来たい・辞めない・活躍できる大学」、そして女性研究者の「見える化・魅せる化」です。これらの目標を達成するため、女性研究者支援室では、学内外と連携して支援体制の強化を進めています。

また、支援事業を持続的なものとし、より一層の充実を図るため、大阪公立大学・高専基金（OMU基金）の寄付目的（特定プロジェクト）に「女性研究者支援事業の充実のために」を創設しました。ご寄附は研究者のワーク・ライフ・バランス支援や女性研究者のキャリアアップ支援、理系女子大学院生チームIRISの活動支援等に活用しております。

今後とも、皆様のますますのご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。



真嶋 由貴恵

大阪公立大学 特命副学長
女性研究者支援室長

情報学研究科／現代システム科学域 教授

CONTENS

01	学長挨拶 女性研究者支援室長挨拶	2
02	事業概要	4
03	実施体制	4
04	事業報告	6
	事業一覧	
	RESPECT 共同研究助成	
	研究支援員制度	
	女性研究者表彰制度【岡村賞】	
	女性研究者外国語論文校閲・校正費助成事業	
	ベビーシッター割引券発行	
	「会議は17時まで」キャンペーン	
	介護相談窓口	
	事業所内保育所	
	スキルアップセミナー	
	各種イベント	
	理系女子大学院生チーム IRIS	
	キックオフ・シンポジウム	
05	文部科学省科学技術人材育成費補助事業 「ダイバーシティ研究環境実現 イニシアティブ(女性リーダー育成型)」について	11

事業概要

大阪公立大学女性研究者支援室では、性別に関わらず、研究者が能力と個性を発揮して、安心して活躍できる大学を目指し、次の4つを柱にして事業に取り組んでいます。

I. 環境整備

大学の推進体制を整えるとともに、研究者がライフイベント（妊娠・出産・育児・介護等）を抱えても、男女問わず活躍できるよう支援します。

III. 研究力向上・リーダー育成

女性研究者が研究チームのリーダーとして活躍できるよう支援します。

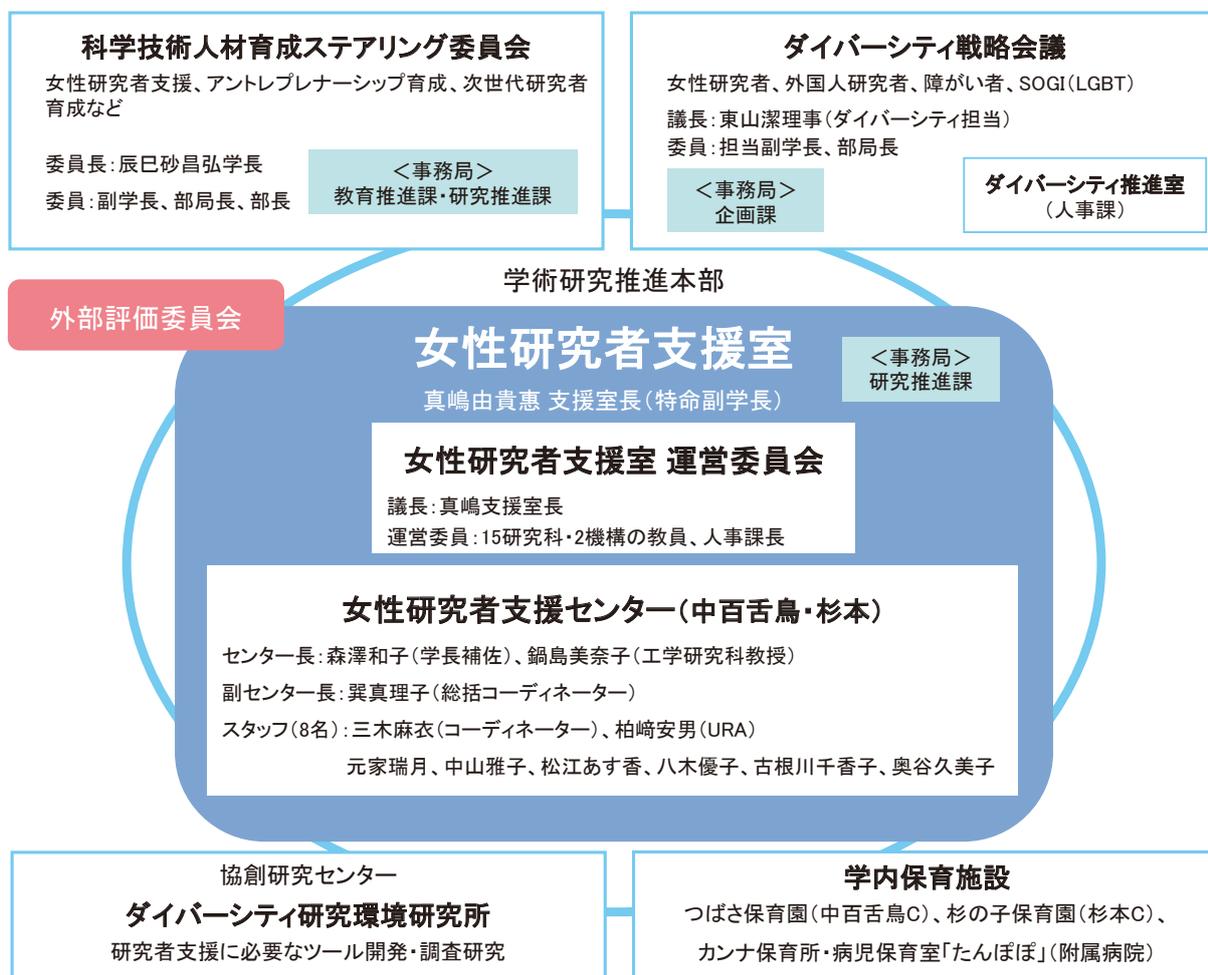
II. 研究者育成

女性が研究者として活躍するキャリアパスを構築するとともに、理系を志す女性の数を増やします。

IV. 女性研究者採用・上位職登用促進

女性研究者を増やし、大学執行部や教授等の上位職として活躍できるよう、全学で連携して取り組みます。

実施体制



科学技術人材育成ステアリング委員会 (2023年4月1日現在)

氏名	職名 (担当部局)
辰巳 砂 昌弘	学長
櫻木 弘之	副学長 (研究戦略・国際戦略) 研究推進機構長 (4号委員)
高橋 哲也	副学長 (教育戦略・情報戦略)
橋本 文彦	副学長 (教育・DX・計画評価) 国際基幹教育機構長
西田 正宏	副学長 (基幹教育・生涯学習) 図書館機構長 (4号委員)
秋田 成司	副学長 (入試)
大塚 耕司	副学長 (学生、SDGs)
松井 利之	副学長 (高度人材育成)
池田 一雄	副学長 (学術研究)
藤村 紀文	副学長 (産学官協創・知財)
坪田 誠	副学長 (国際交流)
重松 孝昌	副学長 (社会連携)
金澤 真理	副学長 (ダイバーシティ・コンプライアンス)
鶴田 大輔	特命副学長

氏名	職名 (担当部局)
真嶋 由貴恵	特命副学長
牧岡 省吾	現代システム科学研究科長
菅野 正嗣	現代システム科学域長
佐賀 朝	文学研究科長・文学部長
鶴田 滋	法学研究科長・法学部長
中島 義裕	経済学研究科長・経済学部長
小林 哲	経営学研究科長・商学部長
高野 恵亮	都市経営研究科長
宮本 貴朗	情報学研究科長
寺北 明久	理学研究科長・理学部長
綿野 哲	工学研究科長・工学部長
堀野 治彦	農学研究科長・農学部長
岡田 利也	獣医学研究科長・獣医学部長
河田 則文	医学研究科長・医学部長
樋口 由美	リハビリテーション学研究科長
田中 京子	看護学研究科長・看護学部長
所 道彦	生活科学研究科長・生活科学部長

女性研究者支援室 運営委員会 (2023年3月29日現在)

氏名	部局・職名
真嶋 由貴恵	特命副学長、女性研究者支援室長、情報学 研究科・現代システム科学域 教授
森澤 和子	学長補佐、女性研究者支援センター長 (中百舌鳥)、工学研究科 教授
鍋島 美奈子	女性研究者支援センター長 (杉本)、工学 研究科 教授
内藤 葉子	現代システム科学研究科 教授
笹島 秀晃	文学研究科 准教授
高田 倫子	法学研究科 准教授
岡田 光代	経済学研究科 准教授
松永 桂子	経営学研究科 准教授
細越 裕子	理学研究科 教授
竹田 恵美	理学研究科 准教授
三枝 栄子	理学研究科 講師
小笠原 紀行	工学研究科 准教授

氏名	部局・職名
高井 飛鳥	工学研究科 助教
上田 萌子	農学研究科 准教授
幸田 知子	獣医学研究科 講師
徳永 文稔	医学研究科 教授
中岡 和代	リハビリテーション学研究科 講師
中嶋 有加里	看護学研究科 准教授
宮下 佳代子	看護学研究科 講師
小伊藤 亜希子	生活科学研究科 教授
久末 弥生	都市経営研究科 教授
村上 晴美	情報学研究科 教授
西垣 順子	国際基幹教育機構 教授
桑原 希世子	国際基幹教育機構 准教授
吉田 朋子	先端科学研究院 教授
肥田 豪紀	人事課 課長

事務局

氏名	部門・役職名
中嵐 淳	研究推進課 課長
青木 智	研究推進課 課長代理
山尾 あおい	研究推進課 課長代理
津田 典子	研究推進課 係長

氏名	部門・役職名
佐藤 考平	研究推進課 係長
藤田 敦子	研究推進課 主任
中辻 智子	研究推進課 係員

事業報告

事業一覧（時系列）

2023年	5月3日	真嶋由貴恵支援室長が大阪府「憲法記念日知事表彰」を受賞
	7月12日	スキルアップ支援プログラム 外部資金獲得セミナーを開催
	7月19日	日経STEAM2023シンポジウムに参加
	8月21日	スキルアップ支援プログラム プレゼンテーション力向上セミナーを開催
	9月9日	真嶋由貴恵支援室長がドーン de キラリフェスティバル パネルディスカッションに登壇
	9月19日	文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」に選定
	9月29日	真嶋由貴恵支援室長が兵庫県立大学管理職研修に登壇
	10月25日	女性研究者交流会を開催
	11月27日	大阪公立大学女性研究者表彰制度 岡村賞 表彰式・記念講演会を開催
	12月5日	サクヤヒメと語るキラリカフェ「働くって、どんな風に？」を開催
2024年	12月15日	キャリアデザインセミナーを開催
	12月20日	スキルアップ支援プログラム 英語スキルアップセミナーを開催
	2月29日	スキルアップ支援プログラム マネジメントセミナーを開催
	3月8日	森澤和子センター長が「第2回活躍する女性リーダー表彰（愛称：ブルーローズ表彰）」を受賞
	3月26日	RESPECT 成果報告会を開催
	3月26日	「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」キックオフ・シンポジウムを開催

RESPECT 共同研究助成

女性研究者が研究チームのリーダーとなる活動を促進することを目的に、准教授以下の女性研究者に競争的インセンティブとして共同研究費を支援しました。

対象	性別	職位等	条件
	女性のみ	専任教員 ●准教授 ●講師 ●助教 ※任期付含む	<ul style="list-style-type: none"> ●共同研究者1名以上を含むチームの研究代表者であること ●2022年度または2023年度のスキルアップ・セミナーに1回以上参加していること ●新に編成したチームで応募者自身がリーダーシップを発揮し、意欲的に取り組む創発的・挑戦的な研究課題があり、今後の長期的な発展・ステップアップへの意気込みがあること ●2020年度以降のRESPECTに採択されていないこと

審査結果 申請件数：16件、新規採択件数：5件

採択者	採択金額（2年間）
児島 千恵（工学研究科 准教授）	200万円
中川 智皓（工学研究科 准教授）	200万円
松尾 薫（農学研究科 助教）	200万円
松原 三佐子（獣医学研究科 准教授）	200万円
早見 直美（生活科学研究科 講師）	200万円

RESPECT 成果報告会

開催日	2024年3月26日（火） キックオフ・シンポジウム内
開催場所	杉本キャンパス 田中記念館 オンライン（Zoom）

登壇者（2022年度採択者）

藤井 律子（人工光合成研究センター 准教授）
岩崎 昌子（理学研究科 准教授）
内海 ゆづ子（情報学研究科 講師）

研究支援員制度

研究時間の確保が難しい妊娠・出産・育児または介護の時期にも、研究等の職務を継続し、研究力の向上を図るため、研究を補助する支援員を配置しました。

対象	性別	職位等	条件
	男女とも	●専任教員(任期付教員を含む)	●妊娠・出産 ●育児(末子が小学校6年生以下) ●介護
	女性のみ	●特任教員(病院講師含む) ●前期臨床研究医、後期臨床研究医 ※いずれも2024年4月以降、大阪公立大学に従事し、社会保険料負担がある者に限る	

※末子が中学校1年生以上でも、いずれかに該当する場合は支援対象とする

①身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている場合

②地方公共団体が実施する障がい児施策の対象になるなど、①と同等程度の障がいを有すると認められた場合

支援内容 研究支援員の利用時間：最大10時間／週

支援員配置状況(部局別)

部局	利用教員数	研究支援員数	配置時間数(週)	部局	利用教員数	研究支援員数	配置時間数(週)
現代システム科学	5	6	12	農学	2	5	12
文学	1	1	6	獣医学	1	4	6
経済学	2	2	6	医学	15	14	90
経営学	2	3	11	リハビリテーション学	5	7	25
都市経営	1	1	6	看護学	12	15	65
情報学	3	5	18	生活科学	4	15	20
理学	10	13	62	国際基幹教育機構	2	4	10
工学	9	9	54	研究推進機構	2	3	15
				合計	76	107	418

平均(1利用教員あたり) 5.5時間 / 週

女性研究者表彰制度【岡村賞】

本学のルーツの一つである大阪商科大学の卒業生 岡村千恵子さんからの教育後援会への寄附を契機に創設しました。次世代の優秀な女性研究者を育成し、研究者におけるジェンダー平等に寄与することを目的として、創造的かつ意欲的に研究活動を行い、ジェンダー平等に貢献している本学の女性研究者を表彰しています。



	対象	賞金	受賞者
特別賞	専任教員	10万円	伊藤 嘉余子(現代システム科学研究科 教授)
奨励賞	研究員、特任教員、 前期・後期臨床研究医	5万円	幕内 安弥子(医学研究科 病院講師)
大学院生 奨励賞	大学院生	各5万円	三枝 まり(大阪府立大学大学院 人間社会システム科学研究科 博士後期課程3年) 大村 美香(大阪公立大学大学院 理学研究科 博士前期課程2年) 金野 文香(大阪公立大学大学院 理学研究科 博士後期課程1年) 松本 朋子(大阪公立大学大学院 農学研究科 博士後期課程1年)

表彰式・記念講演会

開催日 2023年11月27日(月)

開催場所 杉本キャンパス 学術情報総合センター1階 文化交流室

女性研究者外国語論文校閲・校正費助成事業

女性研究者の研究成果の発信支援を目的として、外国語論文校閲・校正費を助成しました。

対象	性別	職位等	条件
	女性のみ	<ul style="list-style-type: none"> ●専任教員（任期付教員を含む） ●特任教員（病院講師含む） ●前期臨床研究医、後期臨床研究医 ※いずれも2023年4月以降、大阪公立大学に従事し、社会保険料負担がある者に限る ●研究員（博士号を持つもの） 	<ul style="list-style-type: none"> ●2023年11月1日～2024年2月末までに外国語論文の校閲・校正を行い、納品・検収が完了するもの ●自身が主たる著者（筆頭または責任著者）として発表するものに限る（原則として実施年度につき1人1件） ●助成対象となる執筆行為 <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の学術誌、書籍等への外国語論文の投稿（アブストラクト含む） ・国際会議等のための外国語による発表用原稿の作成

助成金額

上限10万円（税込み）

利用人数

3名

ベビーシッター割引券発行

在宅保育サービス（ベビーシッター等）を利用する際の料金の一部を助成しました。

対象	性別	職位等	条件
	男女とも	●専任教員	<ul style="list-style-type: none"> ●0歳～小学校3年生（障がいがある場合は6年生まで）の児童の保護者 ●配偶者が就労しているほか病気療養、求職活動、就学、職業訓練等、ひとり親家庭により、ベビーシッターのサービスを使わなければ就労が困難である人
	女性のみ	<ul style="list-style-type: none"> ●特任教員（病院講師含む） ●前期臨床研究医、後期臨床研究医 ※いずれも、大阪公立大学に従事し、社会保険料負担があるものに限る 	

対象サービス

- 家庭内における保育や世話（家庭外は利用不可）
- 家庭と保育所等の間の送迎

利用実績

利用枚数：375枚
利用者人数：10名

「会議は17時まで」キャンペーン

会議時間の適正化および時間外勤務の縮減を図ることを目的として、「会議は17時まで」のポスターを学内に掲示しています。



介護相談窓口

月2回介護アドバイザー（介護の専門家）を配置しました。

対象

連携機関（大阪公立大学、大阪教育大学、和歌山大学、積水ハウス株式会社）の研究者、大学院生等

利用人数

9件

事業所内保育所

教職員等の仕事・研究と育児の両立を支援するため、大阪公立大学が事業所内保育所を運営しています。

- つばさ保育園（中百舌鳥キャンパス）
- 杉の子保育園（杉本キャンパス）
- カンナ保育所（附属病院）
- 病児保育室「たんぽぽ」（附属病院）

スキルアップセミナー

1 外部資金獲得セミナー

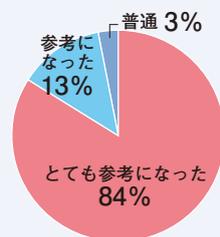


外部資金を獲得するために、研究計画調書を作成する過程についてセミナーを開催しました。

開催日	2023年7月12日(水)
開催場所	オンライン (Zoom)
参加人数	50名

参加者アンケート

- ワークで申請書を作成する際に考えることが明確になりました。
- 科研費申請は、自分の研究についての確認ができる前向きにとらえることができモチベーションアップにつながりました。
- ワークがあったことで、自分の研究計画や問いについて改めて考える機会となりました。



2 プレゼンテーション力向上セミナー



リアルでもオンラインでも伝わるプレゼンテーションについてセミナーを開催しました。

開催日	2023年8月21日(月)
開催場所	オンライン (Zoom)
参加人数	54名

参加者アンケート

- オンラインでのプレゼンは不安ばかりでしたが、「丁寧に」プレゼンすることを意識していこうと思いました。
- 細やかにコミュニケーションを取ることで、リモートで講習を行う場合のデメリットを軽減させることができるのだと実感いたしました。
- オンラインを使用する場合のポイントを含めプレゼンテーションについて初めて学ぶ内容が多くありました。講師の先生の説明が大変わかりやすかったです。



3 英語スキルアップセミナー

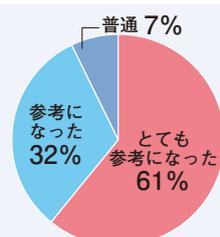


英語論文を書く時に必要なスキルや、機械翻訳や生成AIを利用した学術論文の書き方についてセミナーを開催しました。

開催日	2023年12月20日(水)
開催場所	オンライン (Zoom)
参加人数	94名

参加者アンケート

- AIの凄さを知ることができました。今後活用していきたいです。
- GPTやClaudeについて、具体的な使用例も踏まえて教えていただけて参考になりました。論文作成の時に参考にさせていただきます。
- 生成AIはまだ使い始めたばかりなので、そちらのレクチャーとしても勉強になりました。



4 マネジメントセミナー

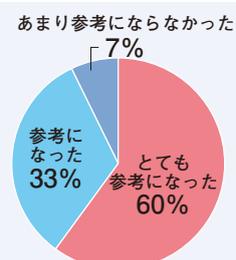


研究チームや研究室のグループリーダーとしてのタイムマネジメントのコツや実践方法を学ぶためのセミナーを開催しました。

開催日	2024年2月29日(木)
開催場所	オンライン (Zoom)
参加人数	26名

参加者アンケート

- 時間の使い方について、他の方のお話も伺いながらとらえ方の違いを感じたり、参考になる点があったりして、充実した時間でした。
- 自分の時間の使い方や目的などを「見える化」することから始めたいと思います。
- 物事の優先順位に対する自分の考え方に多くの気づきがありました。



各種イベント

1 女性研究者交流会

妊娠・出産・育児と研究をどう両立するかなど、女性研究者ならではの悩みを共有できる場として女性研究者交流会を開催しました。

主催：女性研究者支援室

開催日	2023年10月25日(水)
開催場所	中百舌鳥キャンパス
参加人数	11名



2 サクヤヒメと語るキラリカフェ「働くって、どんな風に？」

女子学生・学院生のみなさんが就職活動や将来に対しての不安に思っていることを、社会人の先輩に直接聞ける場として、オンライントークイベントを開催しました。

主催：大阪商工会議所、大阪サクヤヒメ SDG'S 研究会、大阪公立大学

開催日	2023年12月5日(火)
開催場所	オンライン (Zoom)
参加人数	14名



3 キャリアデザインセミナー

大阪府男女いきいき大賞・優秀賞を受賞した企業から講師をお迎えして、各社の女性活躍推進の取り組みやワーク・ライフ・バランスのコツなどについて、ご講話いただきました。

主催：大阪府、大阪公立大学

開催日	2023年12月15日(金)
開催場所	中百舌鳥キャンパス C1棟 学術交流会館小ホール
参加人数	29名



4 日経 STEAM2023シンポジウム

「STEAM教育」の普及・浸透を目指し、「学生サミット未来の地球会議」「高校生 SDGs ポスターセッション」「女性研究者座談会」「企業取材班」などのイベントに、本学の学生・学院生・教員が参加しました。「ブース相談会」では、入試課と共に入試広報に努めました。

主催：日本経済新聞社大阪本社

開催日	2023年7月19日(水)
開催場所	大阪国際交流センター

理系女子大学院生チーム IRIS

IRIS(アイリス)は、次世代の女性研究者・技術者を育成することを目的として結成された理系女子大学院生チームです。IRIS自身が互いに刺激し合い成長することを目標に、研究活動と両立を図りながら多様な活動を行っています。

2023年度はIRIS第13期生として48名が活動し、大阪府内の行政からの依頼を受けて、小学生への科学実験教室「サイエンス・キャンパス」の開催や、文理選択を迷っている女子中高生への進路講演会を開催しました。



受賞

第6回日産財団リカジョ育成賞 準グランプリ

2023年8月4日(金)、公益財団法人日産財団の第12回理科教育賞・第6回リカジョ育成賞の成果発表会が行われ、IRISが第6回リカジョ育成賞 準グランプリを受賞しました。



IRISの活動については、女性研究者支援室ホームページの「IRISについて」をご覧ください。

キックオフ・シンポジウム

令和5年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型)」の事業スタートを記念して、キックオフ・シンポジウムを開催しました。

開催日	2024年3月26日(火)
開催場所	杉本キャンパス 田中記念館 オンライン (Zoom)



文部科学省科学技術人材育成費補助事業 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (女性リーダー育成型)」について

大阪公立大学は令和5年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型)」に選定されました。本事業は、研究環境のダイバーシティを高め、優れた研究成果の創出につなげるため、女性研究者の研究環境の整備、研究力向上のための取組、採用や復帰・復職支援、上位職への積極登用に向けた取組等を支援するものです。大阪公立大学女性研究者支援室では、以下の通り目標をたて、目標の達成に全学を挙げて取り組んでまいります。

プロジェクト期間 2023～2028年度(5年間)

目標 次期の一般事業主行動計画(女性活躍推進)に、目標達成のための行動計画を位置づける。

〈数値目標〉専任教員のみ

2023年度以後 ●新規採用における女性比率30%以上

2028年度 ●女性教員比率25%

●准教授における女性比率25%

●教授における女性比率20%

●執行部(副学長等)における女性比率25%

取組概要

大阪市立大学と大阪府立大学で培ってきた全学の支援体制と実績を活かし、女性研究者の活躍支援を加速して推進する。

① サステナブルな人材育成・活用

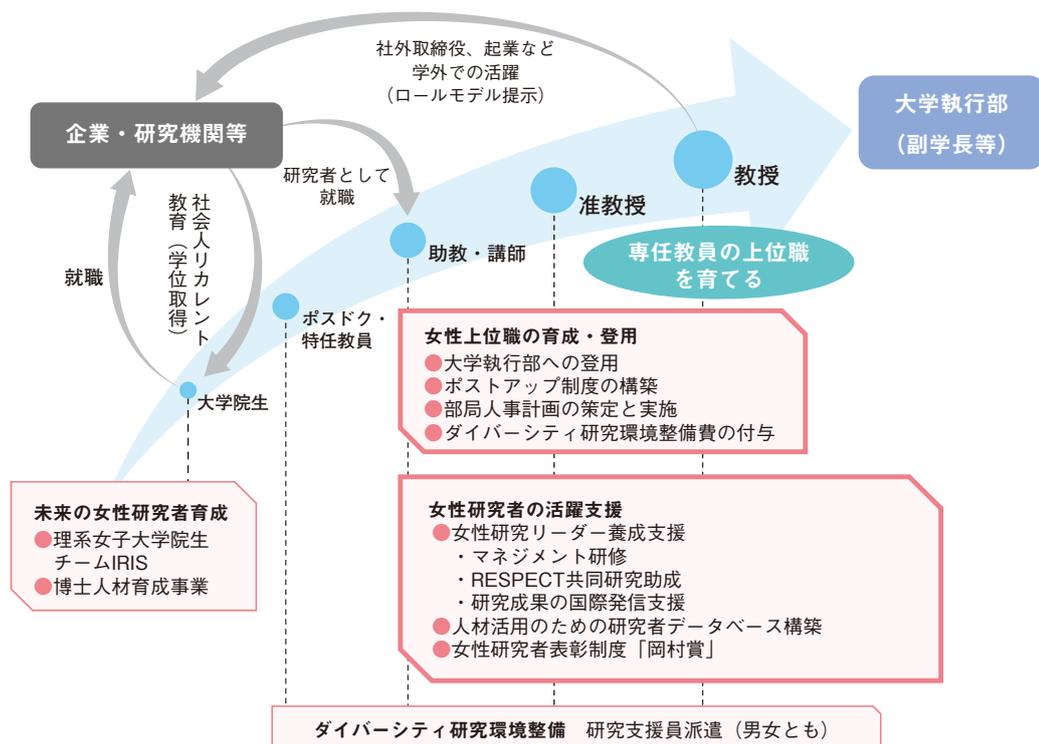
大学院生から執行部まで各段階に合わせた人材育成・活用策により、「研究者が来たい・辞めない・活躍できる大学」になるべく環境整備を強化する。

- ポストアップ制度(OMU女性教員昇任制度)の実施、部局人事計画の策定、ダイバーシティ研究環境整備費の付与
- OMU基金を活用し、研究支援の資金基盤を強化
- 女性研究リーダー養成: RESPECT共同研究助成、マネジメント研修、研究成果の国際発信支援

② 景色を変える

上位職(教授、副学長等)および、メディアやシンポジウムに登場する女性比率を上げ、女性研究者の活躍を「見える化・魅せる化」する。

- 人材活用のための研究者データベースの構築と活用
- 未来の女性研究者育成: 社会人リカレント教育(学位取得支援)、理系女子大学院生チームIRISや博士人材育成事業との連携





大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

2024年3月発行

大阪公立大学 女性研究者支援室

女性研究者支援センター(中百舌鳥)
〒599-8531 堺市中区学園町1-1 C4棟
TEL:072-254-9856

女性研究者支援センター(杉本)
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 1号館1階
TEL: 06-6605-3661